

会 告

第56回日本輸血・細胞治療学会総会開催のご案内(第5報)

日本輸血・細胞治療学会会員各位

第56回日本輸血・細胞治療学会を下記の要領で開催致します。本総会は「医師、臨床検査技師、看護師、薬剤師の共同作業による輸血医療の発展」をメインテーマとしています。輸血医療を担っている様々な職種の「人づくり」体制を充実させることを共通認識事項として、その上で、多様なテーマについて討論を深めていただきたいと思います。

会員および輸血医療に関心がある皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

1. 開催地：福岡市
2. 会 期：2008年(平成20年)4月25日(金)～27日(日)
3. 会 場：福岡国際会議場(福岡市博多区石城町2-1)
4. 総会長：佐川 公矯(久留米大学医学部附属病院 臨床検査部)
5. 参加費：10,000円(事前登録はありません)

総会ホームページ：<http://jsbt56.umin.jp/>

[総会メインにテーマ]

「医師、臨床検査技師、看護師、薬剤師の共同作業による輸血医療の発展」

[プログラム(予定)]

1. 特別講演
 - 1) 第7回村上記念賞受賞講演
座長：大戸 斉(福島県立医科大学輸血・移植免疫部)
演者：中嶋八良
 - 2) 総会長講演 「輸血文化の醸成を目指して」
座長：高松純樹(名古屋大学医学部附属病院輸血部)
演者：佐川公矯(久留米大学医学部附属病院臨床検査部)
2. シンポジウム
 - 1) 感染症に対する細胞治療の現状と課題
座長：今村雅寛(北海道大学大学院医学研究科血液内科学分野)
豊嶋崇徳(九州大学病院遺伝子細胞療法部)
演者：1. 顆粒球輸血の現状と課題
加畑 馨(北海道大学病院検査・輸血部)
佐藤典宏(北海道大学病院高度先進医療支援センター)
2. 難治性EBウイルス感染症に対する細胞・抗体療法
大賀正一(九州大学病院周産母子センター小児科)
 3. 造血幹細胞移植後のウイルス感染症に対する活性化CD4DL1療法

森尾友宏（東京医科歯科大学病院）

- 4．成人T細胞白血病/リンパ腫に対する骨髄非破壊的同種末梢血肝細胞移植後のHTLV-1プロウイルス動態

雀 日承（国立病院機構九州がんセンター血液内科）

2）輸血部門の細胞療法への取り組み課題

座長：室井一男（自治医科大学）

半田 誠（慶應義塾大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

演者 1．骨髄間葉系幹細胞を用いたGVHDの制御

森 政樹、室井一男（自治医科大学輸血・細胞移植部）

- 2．東京女子医科大学における固形腫瘍に対する細胞療法の現状

菅野 仁、藤井壽一（東京女子医科大学輸血・細胞プロセッシング部）

- 3．新しい顆粒球輸血療法 エビデンスに基づいた臨床応用と今後の課題

菊田 敦（福島県立医科大学小児科）、大戸斉（福島県立医科大学輸血・免疫移植部）

- 4．腫瘍血管内皮細胞を標的とした樹状細胞療法の開発について

津野寛和、大槻祐頼、田中 実、米山さとみ、名川弘一、高橋孝喜（東京大学医学部附属病院 輸血部、腫瘍外科、脳神経外科）

- 5．血小板を用いた組織再生療法

石田 明、半田 誠（慶應義塾大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

3）宗教的輸血拒否に関する対応

座長：大戸 斉（福島県立医科大学輸血・移植免疫部）

中田浩一（産業医科大学臨床検査・輸血部）

演者：1．輸血拒否患者への対応の再検討 エホバの証人の立場から

友賀友則

- 2．倫理的問題

武藤香織（東京大学医科学研究所）

- 3．宗教的輸血拒否患者に対する産科医の対応

早川智（日本大学医学部 病態病理学）

- 4．法律的諸問題

岩志和一郎（早稲田大学 法学部）

- 5．宗教的輸血拒否に関するガイドラインにおける輸血部門の役割

米村雄士（熊本大学大学院医学薬学研究部 輸血・細胞治療部）

4）日本のヘモビジランスの新しい展開

座長：高本 滋（愛知医科大学病院輸血部）

山口一成（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

演者：1．当院における輸血の安全監視体制

友田 豊（旭川医科大学附属病院 臨床検査・輸血部）

2. 我国における輸血副作用の現状
加藤栄史、高本滋（愛知医科大学病院輸血部）
3. 日本のヘモビジランスの構築に向けて
大坪寛子（国立感染症研究所）
4. 世界のヘモビジランスと日本の今後
岡崎 仁（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所研究開発部）

5) 総会長特別シンポジウム

輸血医療を支える各職種の役割分担と新人教育カリキュラムを再構築する

座長：高橋孝喜（東京大学医学部附属病院輸血部）

小崎繁昭（日本臨床衛生検査技師会会長）

演者：1. 総会長 佐川公矯

2. 日本自己血輸血学会理事長 脇本信博

3. 日本看護協会 常任理事 廣瀬千也子

4. 日本病院薬剤師会 常務理事 林 昌洋

5. 日本臨床衛生検査技師会 副会長 小沼利光

6) 血小板輸血と疾患：適応と禁忌

座長：藤村吉博（奈良県立医科大学附属病院輸血部）

上田恭典（倉敷中央病院血液内科・血液治療センター）

演者：1. 血小板輸血 オーバービュー

上田恭典（倉敷中央病院血液内科・血液治療センター）

2. DICにおける輸血療法

和田英夫（三重大学 臨床検査医学）

3. ヘパリン起因性血小板減少症(HIT)における血小板輸血

宮田茂樹（国立循環器病センター 輸血管理室）

4. TMA

藤村吉博（奈良県立医科大学輸血部）

3. 輸血問題検討部会

「危機的出血への対応ガイドライン」の活用を目指して

座長：稲葉頌一（神奈川県赤十字血液センター）

前田平生（埼玉医科大学総合医療センター輸血・細胞治療部）

演者：1. 麻酔科医の立場から

稲田英一（順天堂大学 麻酔科）

2. 術中大量出血にともなう希釈性凝固障害への対応

輸血部の立場から

山本晃士（名古屋大学 輸血部）

3. 「危機的出血への対応ガイドライン」の活用を目指して

肝移植の立場から

田村純人（東京大学 移植外科）

4. 「危機的出血への対応ガイドライン」の活用を目指して
産科の立場から

久保隆彦（国立成育医療センター周産期診療部産科）

5. 「危機的出血への対応ガイドライン」の活用を目指して
救急の立場から

益子邦弘（日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター）

4. ワークショップ

1) 特殊免疫グロブリン製剤の献血による国内自給プログラムは可能か？

座長：白幡 聡（産業医科大学病院小児科）

脇坂明美（日本赤十字社血漿分画センター）

演者：1. 特殊免疫グロブリン製剤の需給動向

小高千加子（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

2. 自国供給プログラムを実施している諸外国の状況

稲葉頌一（神奈川県赤十字血液センター）

3. わが国の自給のあり方

清水 勝（医療法人西城病院）

2) 非溶血性輸血副作用

座長：藤井康彦（山口大学医学部附属病院輸血部）

下平滋隆（信州大学医学部附属病院輸血部）

演者：1. 重篤な輸血副作用の原因調査能力の向上 全国大学輸血部会議副作用
ワーキングH19 報告

下平滋隆（信州大学医学部附属病院輸血部）

2. 日本輸血・細胞治療学会認定施設を中心とした定点観察システムの構築

藤井康彦（山口大学医学部附属病院輸血部）

3. TRALI (transfusion-related acute lung injury) と TRALI 鑑別に苦慮した TACO (transfusion associated circulatory overload)

関 義信（新潟県立新発田病院内科）

4. TRALI の鑑別診断のためのNT-proBNP 測定の有用性

岡崎 仁（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

5. 輸血関連急性肺障害に関与した抗HLAclass 抗体陽性血漿と単核細胞
及び血管内皮細胞の共培養による内皮細胞の透過性亢進

若本志乃舞（北海道赤十字血液センター研究部）

6. 表面プラズモン共鳴を用いた抗血漿タンパク抗体測定法の検討

嶋田英子（日本赤十字社血液事業本部中央研究所）

3) 輸血細菌感染症対策

座長：松崎浩史（東京都赤十字血液センター）

星 順隆（東京慈恵会医科大学附属病院輸血部）

演者：1．細菌迅速遺伝子診断システムを用いた初流血除去の細菌除去効果の測定

阿部久美子（三重大学医学部附属病院輸血部）

2．蛍光活性染色法による血小板製剤の迅速・高精度な細菌モニタリング
山口進康（大阪大学大学院薬学研究科）

3．血小板濃厚液輸血後に呼吸不全症と *Bacillus cereus* (*B. Cereus*)
による髄膜炎を併発した症例

飯岡 大（天理よろず相談病院血液内科）

4．ベッドサイドでの感染症対策

下平滋隆（信州大学医学部附属病院輸血部）

5．細菌（及びウイルス）感染報告の現状と対策

百瀬俊也（日本赤十字社血液事業本部）

4) 2007 年度輸血に関する総合アンケート調査結果報告

座長：田中朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

牧野茂義（虎の門病院輸血部）

演者：1．輸血管理体制、輸血療法委員会と輸血適正使用推進に関する調査

牧野茂義（虎の門病院輸血部）

2．輸血副作用に関する調査

米村雄士（熊本大学医学部附属病院輸血部）

3．輸血前後の感染症マーカー検査

紀野修一（旭川医科大学附属病院輸血部）

4．輸血療法実績、貯血式自己血と診療報酬改訂に関する調査

田中朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

5．細胞治療に用いる細胞の採取と処理・保管に関する調査

池田和真（岡山大学医学部・歯学部附属病院輸血医学）

5) 洗浄血小板

座長：浅井隆善（静岡県赤十字血液センター）

下平滋隆（信州大学医学部附属病院輸血部）

演者：1．洗浄血小板の有効性および安全性に関する検討

下平滋隆（信州大学医学部附属病院輸血部）

2．洗浄血小板の副作用防止効果

藤井輝久（広島大学病院輸血部）

3．洗浄 HLA 適合血小板により腎癌の手術が可能であった MDS の 1 例

須佐 梢（群馬大学医学部附属病院輸血部）

4．洗浄血小板の適正な院内調製・品質管理

長村登紀子（東京大学医科学研究所輸血部）

5．自動血球洗浄装置 ACP215 による洗浄血小板の調整

及川伸治（宮城県赤十字血液センター製剤課）

6. M - sol による洗浄置換血小板中での細菌増殖に関する検討

平山順一（北海道赤十字血液センター研究部）

7. 洗浄・置換血小板の適応及びその調整の指針

東 寛（北海道赤十字血液センター研究部）

5 パネルディスカッション

1) HTLV - 輸血スクリーニング 20 年の軌跡

座長：上平 憲（長崎大学医学部・歯学部附属病院輸血部・検査部）

佐藤博行（日本赤十字社九州血液センター）

演者：1. 輸血と HTLV - 大河内一雄先生追悼

佐藤博行（日本赤十字社九州血液センター）

2. 輸血と HTLV - 腎・肝レシピエントに発生する HTLV- 関連疾患の特性

上平 憲（長崎大学医学部・歯学部附属病院輸血部・検査部）

3. 抗 HTLV - 抗体検査 判定保留例および新型 HTLV について

相良康子（福岡県赤十字血液センター）

4. HTLV - の母児感染

大塚博文（鹿児島大学医学部歯学部附属病院産婦人科）

5. HTLV - ウイルス学研究の現状と未来

渡邊俊樹（東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻）

2) 細胞治療の臨床成績向上に向けての課題

座長：加藤俊一（東海大学医学部）

浅原孝之（東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学、先端医療振興財団）

演者：1. 造血細胞移植

豊嶋崇徳（九州大学病院遺伝子細胞療法部）

2. 血管内皮前駆細胞移植による心血管再生治療

川本篤彦（先端医療センター再生医療研究部）

3. 重症心不全に対する再生医療・細胞治療の臨床成績向上にむけて
対象疾患の発症病理・病理病態の理解の重要さの観点から

松山晃文（大阪大学未来医療センター）

4. 膵島移植による糖尿病治療

松本慎一（米国 ベイラー大学病院）

5. 角膜移植

篠崎尚史（東京医科歯科大学市川総合病院角膜センター）

6. 神経再生

水澤英洋（東京医科歯科大学神経内科）

3) 医師と検査技師との「情報共有」のポイントを探る

座長：安藤高宣（愛知医科大学病院輸血部）

東谷孝徳（久留米大学部附属病院臨床検査部）

演者：1. 輸血検査結果の情報共有

中島瑞枝（北九州総合病院）

2. 緊急輸血・大量輸血時における情報共有

紀野修一（旭川医科大学附属病院）

3. 輸血副作用の情報共有

奥村 亘（山形県立中央病院）

4. 輸血に関するインシデントの情報共有

長崎有子（飯塚病院）

6. 教育講演

1) 新鮮凍結血漿による ADAMTS13 の補充：移植後 VOD/TMA への効果

座長：未定

演者：松本雅則（奈良県立医科大学輸血部）

2) ハプトグロビン欠損症原因遺伝子の同定

座長：未定

演者：神田芳郎（久留米大学医学部法医学・人類遺伝学講座）

3) TRALI の新知見

座長：未定

演者：岡崎 仁（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

4) まれな血液型とその確保および供給体制

座長：未定

演者：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

5) 血液製剤の細菌汚染の現状と対策

座長：未定

演者：佐竹正博（東京都西赤十字血液センター）

6) 膠原病に対する自己末梢血幹細胞移植

座長：未定

演者：長藤宏司（九州大学病院血液・腫瘍内科）

7) 人工酸素運搬体の臨床応用へ向けた取り組みと開発現況

座長：未定

演者：堀之内宏久（慶應義塾大学医学部呼吸器外科）

8) 九州の血液事業集約化の現状と方向性

座長：未定

演者：江口祐司（日本赤十字九州血液センター）

9) 輸血前後の感染症検査：日本輸血・細胞治療学会の運用マニュアル

- 座長：未定
 演者：熊川みどり（福岡大学病院輸血部）
- 10) 沖縄県の血液事業：沖縄県赤十字血液センターの特殊性
 座長：未定
 演者：屋良 勲（沖縄県赤十字血液センター）
- 11) スポーツ歯科医の国際援助活動から見たもの
 座長：未定
 演者：吉田雅司（今給黎総合病院）
- 12) 同種造血幹細胞移植後の STR 解析
 座長：未定
 演者：舞木弘幸（鹿児島大学医学部歯学部附属病院輸血部）
- 13) 高齢者における輸血療法の実態
 座長：未定
 演者：坂本久浩（医療法人茜会昭和病院）
- 14) 輸血検査の病院間格差を解消するために
 座長：未定
 演者：川島博信（福岡大学病院輸血部）

7 . ランチョンセミナー 7 題 4 月 25 日（金）～26 日（日）

8 . イブニングセミナー 1 題 4 月 25 日 18 : 00 ~ 19 : 30

9 . 関連行事

各種委員会	4 月 24 日（木）	
総理事会	4 月 24 日（木）	
社員総会	4 月 26 日（土）	
会員総会	4 月 26 日（土）	
会員懇親会（会費 3000 円）	4 月 26 日（土）	18:00 ~ 19:30
機器展示	4 月 25 日（金）	～27 日（日）正午まで
I & A インспекター講習会	4 月 27 日（日）	13:00 ~ 17:00
I & A 委員会	4 月 27 日（日）	7:30 ~ 9:00
認定医受験者のための講習会	4 月 25 日（金）	18:00 ~ 19 : 00

口演発表者の方へ（教育講演・シンポジウム等も含む）

（１）発表形式

- ・ PC発表のみとします。
- ・ プロジェクターは1台のみ使用可能です。

（２）PCの仕様

- ・ 総会事務局で用意するPCはWindows（XP）で、アプリケーションはMicrosoft PowerPoint2000 および 2003 です。Windows Vista および PowerPoint2007 には対応していません。

Windows Vista および PowerPoint2007 をご利用になる場合は、ご自身のPCをご持参ください。

- ・ 発表データは、CD-RまたはUSBフラッシュメモリーでご持参ください。MOなどのメディアは受け付けられません。
- ・ Macintoshの場合もしくはWindowsにて動画をご利用になる場合は、ご自身のPCをご持参ください。

（３）発表データ作成要領

スライド枚数

一般口演でのスライド枚数は10枚以内で作成してください。教育講演・シンポジウム等はその限りではありません。

発表時間

一般口演での発表時間は、発表7分、質疑3分とします。

（演者には、発表6分目緑ランプ、7分目赤ランプにてお知らせします）
教育講演・シンポジウム等、その他の口演は座長の指示に従って下さい。

使用フォント

下記のフォントを推奨します。

日本語表記：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、平成明朝

英語表記：Arial、Century Gothic、Century、Times New Roman

音声使用について

対応していません。

（４）発表データ受付ならびに操作方法

- ・ PC受付は、発表60分前（早朝の場合30分前）までにお済ませください。なお、2日目以降の演者は1日目から受付できます。
- ・ データは、学会が用意するサーバに一旦コピーいたしますが、ご発表後は責任を持って消去いたしますのでご了承ください。
- ・ 演台上にはモニター、キーボード、マウスが用意してありますので、操作は演者自身でお願いします。

PCを持参される場合には、PC受付で試写・動作確認をお済ませの上、各自会場のPCオペレータ席までPCをご持参ください。終了されましたら、PCはお受け取りください。

ポスター発表者の方へ

(1) 発表形式

原則として、3日間掲示していただきます。また、指定日時に座長の進行の下、ポスターの前で発表を行っていただきます。(発表3分、質疑2分)

(2) ポスターパネルについて

- ・ パネルの大きさは、縦210cm、横90cmです。
- ・ 演題番号は総会事務局で用意しますが、タイトル(演題名、所属、演者名)は、各自ご用意ください(縦20cm×横70cm)
- ・ 見やすい掲示を心がけ、特に図表・写真などは約2mの距離から判読できるものをご用意ください。
- ・ 目的、方法、結果および結論を順序良く簡潔に整理して掲示してください。
- ・ 掲示のためのピンは、ご用意いたします。
- ・ マイクは使用いたしません。
- ・ ポスターの掲示時間、撤去時間などの詳細は、総会ホームページ上でお知らせします。
- ・ 3日間掲示終了後のポスター撤去を確実にお願いいたします。



第56回 日本輸血・細胞治療学会
ご宿泊のご案内

「第56回日本輸血・細胞治療学会総会」が福岡にて開催されるにあたり、出席される皆様の便宜を図るため、西鉄旅行が宿泊施設のお世話を担当させていただく事になりました。弊社では、本総会用に特別割引料金で各ホテルを確保し、ご案内させて頂いております。ご希望の方はお早めにお申込み下さいますようお願い致します。

お申込み・お支払い方法

専用のホームページを作成しておりますので、インターネットにてお申込み下さい。

専用アドレス：<https://www.nishitetsutavel.jp/niccs/yuketsu56/>

*各ホテルの客室数には限りがございますので、お早めにお申込み下さい。

お支払いは銀行振込又はクレジットカードにてお願い致します。ホームページ内の所定用紙にて決済の手続きを行って下さい。

お申込後、弊社より宿泊確認書を送付致します。当日、ご宿泊の際にご持参下さい。

(宿泊確認書は、お申込み締切後、順次発送いたします)

お申込締切 平成20年4月9日(水)

* 下記特別料金でのご予約は、インターネット・FAX/郵送のいずれかにてお申込み下さい。電話によるお申込みは、お受け出来ませんのでご了承下さい。

* 変更・取消につきましても混乱防止のため、メール又はFAXにてご連絡下さい。

ホテルリスト

宿泊設定日 平成20年4月24日(木)～4月26日(土)

ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金	会場までの所要時間	アクセス
ホテルオークラ福岡	シングル	18,900 円	車で約10分	地下鉄中洲川端駅 6番出口に直結
	ツイン	14,700 円		
	シングルユース	23,100 円		
西鉄イン福岡	シングル	7,500 円	車で約10分	地下鉄天神駅 番 出口より徒歩3分
	ツイン	7,500 円		
西鉄イン博多	シングル	8,400 円	車で約10分	JR 博多駅博多口より 徒歩4分
	ツイン	8,400 円		

キャナルシティ福岡ワシントン	シングル	9,700 円	車で約10分	JR 博多駅博多口より 徒歩10分
	ツイン	8,000 円		
博多エクセルホテル東急	シングル	12,600 円	車で約10分	地下鉄中洲川端駅 1番出口より徒歩1分
	ツイン	10,600 円		

* 下記料金は、1泊朝食付・税・サービス料金込みの一人様当たりの宿泊料金です。

* キャナルシティ福岡ワシントンの26日(土)の宿泊は、シングル 2,300 円 ツイン 3,000 円追加になります。

* 博多エクセルホテル東急の26日(土)の宿泊は、シングル・ツインともに500円追加になります。

通信連絡費

通信連絡経費として、お申込一件につき500円を申し受けます。

(なお、お取消の場合でも通信連絡費の払い戻しは致しません)

宿泊プラン取消料

取消日	取消料金
旅行開始の4日前	無料
旅行開始の3日前～2日前	1泊分の20%
旅行開始日の前日	1泊分の50%
旅行開始日の当日	100%

<お申込み・お問合せ先>

西鉄旅行株式会社 久留米支店 「第56回 日本輸血・細胞治療学会総会」デスク

〒830-0017 福岡県久留米市日吉町16-28

TEL : 0942-33-1573 FAX : 0942-33-8459

担当: 諸藤・香月・宮原

E-mail: hisayuki_morofuji@travel.nnr.co.jp

問い合わせ先一覧

第56回 日本輸血・細胞治療学会総会

総会長：佐川 公矯

久留米大学医学部附属病院 臨床検査部 教授

会期：2008年(平成20年)4月25日(金)～27日(日)

会場：福岡国際会議場

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1

TEL:092-262-4111 FAX:092-262-4701

総会メインテーマ

「医師、臨床検査技師、看護師、薬剤師の共同作業による輸血医療の発展」

学会用アドレス

URL：<http://jsbt56.umin.jp>

E-mail：nihonyuketsu0525@kurume-u.ac.jp

事務局

久留米大学医学部附属病院 臨床検査部

事務局長：高木 基成

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67

TEL:0942-35-3311(内線 5441) FAX:0942-31-7709

運営事務局

〒819-0166 福岡市西区横浜2-7-4

株式会社 九州舞台 担当者：小川博史

TEL:092-806-9421 FAX:092-806-9424

ご宿泊等のお申し込み、お問い合わせ先

西鉄旅行株式会社 久留米支店 担当者：諸藤、香月、宮原

〒830-0017 久留米市日吉町16-28 西鉄タクシー六ツ門ビル2F

TEL:0942-33-1573 FAX:0942-33-8459

E-mail:

お申し込みに関してはホームページからお願いします。

お申し込み締切日 2008年(平成20年)4月9日(水)

「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」の発行について

認定輸血検査技師制度協議会

認定輸血検査技師制度の更新予定者を対象として、第 56 回日本輸血・細胞治療学会総会期間中に下記の日程で「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」を発行いたします。

なお、今回は総会に参加された方に「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」をお渡しいたします（指定講座は設定しません）。

- ・ 会 期：平成 20 年（2008 年）4 月 25 日（金）～4 月 27 日（日）
- ・ 会 場：福岡国際会議場
- ・ 受付時間：4 月 25 日・26 日は午後 1 時～午後 3 時 27 日は午後 12 時～午後 1 時
- ・ 受領方法：

総会受付付近の日本輸血・細胞治療学会事務局の証明書発行所に、「総会参加証（名札）」を提示して下さい。参加証の名前と認定輸血検査技師名簿とを照合・確認し「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」をお渡しいたします。

* 更新までの 5 年間に少なくとも 1 通以上の「認定輸血検査技師更新のための講座参加証明書」が必要となります。